

「名古屋港水族館の機能向上に向けた基本計画（素案）」に対する意見募集の結果

名古屋港管理組合は、令和7年11月17日（月）に「名古屋港水族館の機能向上に向けた基本計画（素案）」を発表し、名古屋港管理組合ホームページの掲載等を通じて、広く皆様のご意見を募集しました。

貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございました。

ここでは、お寄せいただいた主な意見の概要と、それに対する名古屋港管理組合の考え方をご紹介します。

1. 意見募集の期間と件数

(1) 募集期間

令和7年11月17日（月）から令和7年12月16日（火）

(2) 意見総数

61名304件

(3) 集計方法

1通のなかにある、ご意見と考えられる部分を件数としてカウントし、同様の趣旨と考えられるご意見については、要約の上、まとめて「ご意見(概要)」として掲載しています。

ご意見（概要）	名古屋港管理組合の考え方
基本計画全体に対する意見（14件）	
<ul style="list-style-type: none">・大規模リニューアルを楽しみにしている。・自分の感じていた問題点と合致しており、改修が楽しみ。・「名古屋港水族館らしさ」を残しつつ、新時代の施設として発展してほしい。・名古屋港水族館は名古屋・東海地方を代表する観光資源なので感情論に流されず、より良い運営を続けてほしい。	多くの県民・市民等の皆様に親しまれ、愛されてきた水族館として、誰もが、居心地よく、つながりあい、水族に親しみ、楽しく学ぶ水族館を実現してまいります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・水槽展示や生き物の見せ方は現状で十分に素晴らしい。 ・大きな変更は望まない。 	
第1章 名古屋港水族館のあり方について		
新たな展示テーマ・コンセプトについて (3件)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが未来になると、南館の南極展示と「南極観測船ふじ」とのつながりが弱くなる可能性があるのではないか。 ・南館から南極エリア・ペンギン展示へ至る現在の旅の完結感のある展示が失われることを懸念している。 ・館名の統一を検討してほしい。 	<p>これまでの展示テーマである「南極への旅」「35億年はるかなる旅」を残しつつ、新たな全体の展示テーマを「未来への旅」としております。南極への旅の目的地や南極観測船の航路という基本的な考え方を引き継ぎながら、将来に向けた展示に発展できるよう検討してまいります。また、館の名称につきましても、これらの展示テーマを踏まえ、来館者に分かりやすく、親しみを持っていただけるよう引き続き検討してまいります。</p>
機能向上の考え方について (8件)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが働きやすい環境整備。 ・老若男女が楽しめる水族館であることを望む。 ・過度な装飾より、まず快適性・機能性の向上を優先してほしい。 ・水族館の4つの役割（種の保存・教育・研究・レクリエーション）を全体的にレベルアップしてほしい。 ・水族館は人のためではなく、まず生き物が最優先であるべき。 ・ショーアップは「生物の野性を損なわない範囲」で行ってほしい。 	<p>基本構想で示した機能向上の考え方を踏まえ、課題解決とともに水族館の4つの役割（種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーション）を大切にする水族館として施設整備してまいります。</p>
既存施設の有効活用について (6件)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデンふ頭全体を活用し、水族館の規模拡張を検討してほしい。 ・名古屋市中心部への都市型水族館（分館）整備を希望。 ・名古屋港水族館の巨大水槽を継承してほしい。 ・名古屋港駅～水族館の導線に屋外展示を配置してほしい。 ・北館奥のエスカレータを、歩行用スロープに変更することを要望。 	<p>必要な改修・更新を計画的に実施しながら、限られた資源を最大限に活かし、持続的な施設を目指してまいります。</p>

展示・観覧機能の充実について（1件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・学びと動物福祉を優先してほしい。 	<p>楽しみながら学べる展示を目指すとともに、動物が健康で生き生きと暮らせる環境づくりに取り組んでまいります。</p>
多様な来館者への対応（6件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・新設される水槽も子どもが見やすい展示にしてほしい。 ・小さな子どもが遊べる室内スペースの設置を希望。 ・外国人来館者向けサービスの充実。 ・注意喚起を除き、館内案内は日本語と英語のみに絞ってほしい。 ・表示言語が増えると視認性が低下する。 	<p>多様な方に対応できる施設を目指して、誰もが利用しやすい環境づくりを進めてまいります。</p>
第2章 名古屋港水族館の新たな施設概要について	
展示・空間の演出方法	
楽しく学ぶ展示について（26件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージ偏重ではなく、生き物を直接観察できる展示を重視してほしい。 ・名古屋港水族館は、学術展示があることが魅力であり、価値である。 ・名古屋港水族館を学習施設としてさらに発展してほしい。 ・学術論文や研究報告の展示方法の改善（DX化、論文アクセス、画像・映像、飼育員コメント表示など）で進化させてほしい。 ・学術論文や研究報告の展示は重要であり、廃止する方針には反対。 ・多くの人にとっての「親しみやすさ」と、深く探究したい人のための「学術的な深み」の両立を期待している。 ・子供たちには知る喜びのきっかけを与えてほしいと思う。 ・バックヤードの可視化など飼育員の研究・飼育の現場を見せる機会を増やしてほしい。 ・研究者・飼育員とのコミュニケーションの機会を増やしてほしい。 	<p>生き物の多様な側面を間近で観察し、標本や模型なども利用して楽しく学ぶことができる展示を目指してまいります。また、学術論文や研究報告についても、分かりやすく紹介する仕組みづくりを取り入れながら、子供たちを始めとした全ての方が興味・関心を高めるきっかけを作ることができる水族館を目指してまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物の生態について勉強になるため、講演会などの開催を増やしてほしい。 ・子どもが興味を深めるには実寸・質感など本物との比較が重要であり、デジタルで体感できる展示を希望する。 	
没入感・空間演出について（10件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然光の下で、生息地を再現し、時間・季節を感じられる環境。 ・夕方・夜など時間帯に応じた生き物の姿を体験できる展示を希望。 ・現在の北館入口の照明演出は非常に良い。 ・水面風の揺らめく照明が多く、疲れやすい。 ・スタジアム屋根等へのプロジェクションマッピングなど、ナイトコンテンツの充実。 ・プロジェクションマッピングなど、音や光が強い演出は安易に導入しないでほしい。 ・床へのプロジェクションは影が出て視認性・デザイン性が低下する。 	<p>生息環境を可能な限り再現し、動物福祉に配慮しつつ没入感を感じられる空間演出を目指してまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
居心地の良い空間について（3件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・レストラン等に名古屋港を一望できるオーシャンビューの空間を設けてほしい。 ・飲食・子ども向け機能は極地ペンギン館や南館の関連エリアに集約してほしい。 ・キッズスペースも大幅拡張の必要性は疑問。 	<p>これまでの観覧環境の良さを大切にしつつ、居心地のよい、滞在型の水族館を目指してまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
最新デジタルの活用について（4件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ろう者・外国人向けの字幕／翻訳が可能なデジタル技術の導入を希望。 ・デジタルによる個体情報・行動解説・生態情報をわかりやすく提示するシステムを提案。 	<p>最新のデジタル技術を活用し、多言語化・学習機能の充実・動線の改善など、多様な利用シーンに対応してまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル解説機器を多用せず、二次元コード等を活用した個人端末対応の解説方式を導入してほしい。 ・アプリ等でシンプルな館内情報・混雑状況を確認できる仕組み。 	
環境啓発展示について (2件)	
<ul style="list-style-type: none"> ・環境についてのイベントを増やしてほしい。 ・環境保全への意識向上のため、日本近海・ガーデンふ頭に関する展示をさらに充実させてほしい。 	<p>未来を見据えた環境啓発展示を充実することで、環境保全への意識を育むことができる水族館を目指してまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
その他の展示について (19件)	
<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋や地域との関連性を感じる展示を取り入れてほしい。 ・愛知県の河川にちなんだ淡水魚、名古屋港の魚類・地域の海に関する生き物などの展示コーナーを設けてほしい。 ・名古屋港に生息するスナメリの魅力が伝わる展示の強化。 ・名古屋港の自然と人の関わりの歴史を紹介するコーナーを設けてほしい。 ・名古屋港の歴史や港湾・工業・物流を解説する展示の設置。 ・日本近海の多様な環境を大型水槽で再現してほしい。 ・日本近海の漁業問題に関する展示を強化してほしい。 ・シャチの飼育・繁殖・研究・保全活動をさらに充実させてほしい。 ・飼育困難種の飼育方法解明・調査研究にもっと力を入れてほしい。 ・新種・絶滅危惧種の鯨類などの展示（実物大模型や骨格標本）の充実を希望。 ・アザラシなど、新たな生物の飼育を希望する。 	<p>今後の水族館を検討するうえで参考とさせていただきます。</p>

新たな施設概要について

極地ペンギン飼育展示施設について（44件）

- ・新ペンギン飼育場の設置を楽しみにしており、歓迎する。
- ・整備にあたって、面積や水深を確保してほしい。
- ・将来の個体数増加や繁殖計画に配慮した計画にして欲しい。
- ・イメージ図の水槽上部開放が不安である。
- ・具体的な展示について、水槽の裏側、陸地側、子育てなどを見られるよう期待する。
- ・鳴き声をスピーカーで聴くことや、水槽の様子を映すなど現状の展示の維持・刷新を希望する。
- ・繁殖技術の向上・研究が進むことを期待する。
- ・北館・南館と「ペンギン館」の名称の統一感に欠けるのではないか。
- ・現在しおかぜ広場で飼育しているケープペンギンの移転先や今後の飼育・展示方針が分かりにくい。
- ・アクセス用のエレベータを設置してほしい。
- ・雨天や寒い時期でも、遠足などの児童生徒が安心してお弁当を広げられるスペースを作る事は良いと思う。
- ・屋内飲食スペースを設置することによる、混雑や安全対策を懸念。
- ・ベビーカー・車いす利用者を想定した観覧スペースや付帯設備の充実を求める。

動物福祉に配慮し、ペンギンの生態や魅力を通じて、学びや気づきを得られる新たな展示を目指してまいります。

また、種の保存や繁殖・研究の取組を大切にしながら、楽しさを共有できる、心をつなげる空間作りを進めてまいります。

具体的な展示内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。

南極エリア（ペンギン水槽跡地含む）について（5件）

- ・極地ペンギン移設後の南極エリアについて、満足感を損なわないインパクトのある展示を導入してほしい。
- ・南極の地図は貴重で学習価値も高いため、削除しないでほしい。
- ・南極展示（昭和基地の場所・活動内容など）を、直感的に理解できる楽しい展示にしてほしい。

南極への旅の目的地や南極観測船の航路という基本的な考え方を大切に、学びや気づきを得られる新たな展示を目指してまいります。

具体的な展示内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。

<ul style="list-style-type: none"> ・南極観測船ふじと連携し、南極海の生態や観測の歴史、名古屋港が担った科学技術の役割を水族館と統合して欲しい。 	
日本の海エリアについて (10 件)	
<ul style="list-style-type: none"> ・バックヤードの充実、小水槽の縮小・大水槽の増加は、飼育員の負担軽減の点で良い方向。 ・日本の海エリア小水槽は混雑しやすかったため、集約化に賛成。 ・日本の海エリアの小型水槽縮小を残念に思う。 ・混雑や、順番が分かりにくい鑑賞動線を改善してほしい。 ・トンネル型水槽を残してほしい。 ・黒潮大水槽の展示改善を希望する。 	<p>南極への旅の出発地である日本の海の魅力を大切にしながら、人と海とのつながりを感じられる展示を目指してまいります。</p> <p>また、より快適で分かりやすい観覧環境の整備を通じて、魅力の向上につなげてまいります。</p> <p>具体的な展示内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
水中観覧席について (19 件)	
<ul style="list-style-type: none"> ・混雑時なども、子どもには1番の特等席で見てほしい。 ・長時間滞在を促すスペースがあるとよい。 ・平日と土日で動線や混雑をコントロールできるとよい。 ・水中観覧席に飲食スペースは、汚れや匂いなどの問題から不要である。 ・水中観覧席にキッズスペースは、安全性・騒音などの観点から不要である。 ・水中観覧席は静かに鑑賞できる空間を維持してほしい。 ・柵の設置、平らな床などは視界の問題から反対である。 	<p>これまでの観覧環境の良さを大切にしつつ、居心地の良い空間づくりを進めてまいります。</p> <p>また、空間をつなげることで、地球環境や生態系などの大切さを体感できる場を目指してまいります。</p> <p>具体的な展示内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
メインプールについて (4 件)	
<ul style="list-style-type: none"> ・プールの塗装補修をしてほしい。 ・擬岩を撤去し、視認性を向上させてほしい。 ・メインプールスロープの勾配を緩くしてほしい。 	<p>生物の飼育環境に配慮しつつ、生物の魅力や大切さを感じられる空間づくりを目指してまいります。</p> <p>具体的な展示内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>

シャチ・イルカ・ベルーガプール（10件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・シャチプールの観覧環境を改善してほしい。 ・シャチプールのライブ映像を鑑賞する屋内スペースを整備してほしい。 ・シャチプールは狭いため、巨大なプールを整備してほしい。 ・イルカプールの水質を一日中綺麗に維持してほしい。 ・ベルーガ水槽の観覧スペースの拡張とベンチ設置を希望。 ・プール内の擬岩は残してほしい。 	<p>生物の飼育環境に配慮しつつ、生物の魅力や大切さを感じられる空間づくりを目指してまいります。</p> <p>具体的な展示内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
水族館全体/バリアフリーについて（8件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・エレベータの増設、改修を希望する。 ・通路幅を拡張し、ベビーカー・車椅子同士でも余裕をもってすれ違える空間として欲しい。 ・バリアフリー動線を、急こう配や短いルートなどに改善してほしい。 ・介護用ベッド付きトイレを各フロアに増設してほしい。 ・障がい者用駐車場を増設してほしい。 	<p>社会情勢の変化に即した多様なニーズに対応し、誰もが安心して利用しやすい環境を整えてまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
水族館全体/アメニティについて（15件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの数と質を上げる事に賛成。 ・トイレの個室に荷物を置けるスペースがあると嬉しい。 ・キッズトイレの新設を歓迎。 ・キッズトイレは、子どものプライバシーを確保できる構造としてほしい。 ・北館・南館の全フロアに授乳室を設置してほしい。 ・授乳室は、遮音性・施錠可能・ベビーカー対応・適温管理を確保してほしい。 ・ベビールーム内に、育児用品（おしり拭き等）や飲料・軽食を購入できる自販機を設置してほしい。 	<p>社会情勢の変化に即した多様なニーズに対応し、誰もが快適に滞在できる環境を整えてまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化を踏まえると、授乳室を大規模化する必要性は低い。 ・ 北館・南館の全フロアに複数のおむつ替えスペースを設置してほしい。 ・ プライバシーと安全性に配慮した独立したおむつ替えルームにしてほしい。 ・ 男女トイレ内にベビーカー対応個室を設置してほしい。 	
水族館全体/サイン・案内について（4件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルサイネージの導入により、館内案内を分かりやすくしてほしい ・ エントランスや南館の動線改善に賛成。 ・ スマホ導入の案内に加え、高齢者向けに紙の案内も残してほしい。 	<p>社会情勢の変化に即した多様なニーズに対応し、誰もが分かりやすく安心して利用できる環境を整えてまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
水族館全体/ルート・動線について（3件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ショートカットルートを増やしてほしい。 ・ 動線を改善し、途中退出可能など自由な動線にして混雑を緩和してほしい。 	<p>社会情勢の変化に即した多様なニーズに対応し、誰もが安全かつ円滑に利用できる環境を整えてまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
水族館全体/休憩スペースについて（4件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 館内に食事・休憩スペースを点在させてほしい。 ・ ベンチやソファを多く配置してほしい。 ・ 館内に休憩スペースや、一人でゆっくり本が読めるスペースを設けてほしい。 	<p>社会情勢の変化に即した多様なニーズに対応し、誰もが快適に滞在できる環境を整えてまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>
水族館全体/災害対応について（1件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 南海トラフ地震を想定した港湾動線やスペースの確保など、災害対応機能の強化。 	<p>社会情勢の変化に即した多様なニーズに対応し、誰もが安全・安心を確保できる環境を整えてまいります。</p> <p>具体的な内容の検討にあたっては、ご意見を参考とさせていただきます。</p>

第3章 新たな水族館の実現に向けて		
整備手法の検討について (2件)		
<ul style="list-style-type: none"> ・飼育動物へ配慮しつつ工事してほしい。 ・北館に資材搬入や荷物積み下ろし用のスロープを設置してはいいかか。 		整備にあたっては、飼育生物に配慮し、関係者と協力しながら、さらに魅力的で持続可能な水族館を目指してまいります。
整備手法に向けて (3件)		
<ul style="list-style-type: none"> ・他の人気水族館の工夫を参考にしてほしい。 ・海外の関連施設や SNS 情報も参考にほしいと提案。 ・市民から多様なアイデアを募集する仕組みを希望。 		今後の水族館を検討するうえで参考とさせていただきます。
持続的な運営に向けて (8件)		
<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば値上げに賛成。 ・追加されるキッズスペースや飲食スペースなどの清掃コスト確保を希望する。 ・学びの場として子ども・学生料金は据え置きまたは抑制を検討してほしい。 ・高額寄付者に特等席での見学など特別な機会を提供してはどうか。 ・外国人観光客の入館料を日本人より高額に設定してはいいかか。 ・高い入館料に見合った内装・展示演出に刷新してほしい。 ・展示の質向上に加え、リピーター獲得や新規来館者増につながるようしてほしい。 ・計画実現に向けて、クラウドファンディング、限定イベント、オリジナルグッズ販売などの資金協力の仕組みを検討してほしい。 		持続可能な運営の実現に向け、安定した運営の確保に取り組むとともに、水族館の価値や取組を多くの方と共有し、応援していただける仕組みについても、引き続き検討してまいります。
その他について		
その他のエリアについて (10件)		
<ul style="list-style-type: none"> ・「くらげなごりうむ」は混雑するため、動線も含め改善検討を希望。 ・「くらげなごりうむ」は、落ち着いた展示にしてほしい。 		今後の水族館を検討するうえで参考とさせていただきます。

<ul style="list-style-type: none"> ・「エコアクアリウム」は目立たないため、印象的で目立つ看板に変更してほしい。 ・サンゴ大水槽の砂浜スペースを拡大し、立ち入れるようにしてほしい。 ・シネマ館を設備改良し、多目的ホールや通年放映など活用できるようにしてほしい。 ・生物愛護の精神からは外れてしまうが、タッチプールを復活してほしい。 ・南館2階ホワイエの特別展示を充実させてほしい。 ・特別展エリアの移設に伴う現エリアの用途が分からない。 	
周辺施設について (22 件)	
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設の、飲食・お土産などの充実を希望する。 ・ガーデンふ頭全体に対する一体的な再開発を期待する。 ・ガーデンふ頭に対する、ホテル誘致・リゾート開発・エンターテインメント施設の設置など具体的な整備を希望する意見。 ・ガーデンふ頭周辺施設の老朽化対策としてのリニューアルを希望する意見。 ・ガーデンふ頭との交通アクセス連携を希望する。 ・天候の影響を受けにくい立体駐車場の整備を検討してほしい。 ・名古屋港駅から水族館までの屋根付き歩道を整備してほしい。 ・ガーデンふ頭と南極観測船ふじの連携を強化してほしい。 ・ガーデンふ頭内の他施設にも年間パスポートを設定してほしい。 ・名古屋港水族館、ガーデンふ頭にロケーションマップの設置してほしい。 ・からくり時計『浦島太郎伝説』の貝殻部分の塗装補修希望。 	<p>新たな水族館の実現にあたっては、周辺環境や施設との連携を図りながら、さらなる魅力向上を目指してまいります。</p>

現状の運営に関する意見 (23 件)

- ・トイレ・飲食・休憩・共有スペースを常に清潔にして欲しい。
- ・フードテラスのメニューは水族館らしさが不足している。
- ・写真を撮りたくなるユニークなメニューを導入してほしい。
- ・レストランのクオリティを高め、季節限定メニューなども提供してほしい。
- ・南館にも自動販売機を増設してほしい。
- ・メインプールの大きさをイルカパフォーマンスにもっと活かしてほしい。
- ・大型生物（ペンギン・シャチ・イルカ・ベルーガ等）の個体識別表示の充実。
- ・終了したライブカメラを復活させてほしい。
- ・論文、絵画等の市民参加型コンテストの開催を希望。
- ・キャスター付き大型旅行カバンのロッカー保管義務化。
- ・写真撮影などに関するルールを明示してほしい。
- ・通路・動線部・水槽前での立ち見ルールの設定。
- ・喫煙所を移設してほしい。
- ・AI 監視システム（火災・漏水・危険検知）の導入。
- ・水族館の HP に問い合わせフォームを設けてほしい。
- ・館内に相談しやすいスタッフ配置。
- ・トラブル発生時の撮影・録音物の SNS 公開を禁止。
- ・館内・ガーデンふ頭での着替え行為の禁止。
- ・ガーデンふ頭花壇への立ち入り禁止と注意喚起看板の設置。

現状の運営に関するご意見につきましては、指定管理者と共有させていただきます。

その他 (7件)	
<ul style="list-style-type: none"> ・シャチ「リン」を母親がいる須磨シーワールドへ移してほしい。 ・亡くなったシャチ「アース」の骨格標本を展示してほしい。 ・アースの関連グッズを終売せず、継続販売してほしい。 ・フランスの水族館にいる、行き場のないシャチ親子を、種の保存のために引き取ってほしい。 ・自然界のイルカ・シャチの保護機能を持つ施設が必要ではないか。 	<p>水族館の役割を果たしていくなかで、より良い水族館を目指してまいります。</p>